

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 市民説明会
日時	平成 27 年 8 月 25 日（火） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 12 分
会場	中野市立科野小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 54 人・教育委員会出席者 9 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 4 人・報道機関 7 人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

- 1 開会 進行：教育次長
- 2 あいさつ 教育委員長
- 3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明
- 4 質疑

意見

- これだけの中身を理解するのは非常に難しいので、十分丁寧に説明して、理解を得ながら協議をしてください。特に今回は科野地区について具体的に話をしてください。
- 市民説明会での意見を、市のホームページなど、何らかの形で全市民が閲覧できるよう公開してください。さらに住民アンケート等も実施していく必要があると考えますが。

回答

- 説明不足の点があるとするば、また改めて説明をさせていただきます。会議録については、すべてホームページで公開をしていく予定です。住民アンケートについては、ご意見としてお聞きし、検討させていただきます。

意見

- 学校の統廃合の問題は、地域がどうなるのか、コミュニティーはできるのかも含め、重要な課題です。科野地区からは、農協の金融の部分が平岡へ移り、駐在所も移り、公務員のような、全体に村や地域のことを実践的に中心に考えてくれる人たちも少なくなると、地域の中で子ども達を育てるという観点を抜きにして統廃合を考えてはいけないと思います。数字で説明していただいた部分はその通りだと思いますし、統合もやむを得ないという感じもありますが、このような形で進んでいくなれば、地域の皆さんの意見が反映できないという恐れもあります。

回答

- 地域から学校がなくなるということは、地域はどうなるのかというご指摘ですが、教育委員会や答申を受ける前の審議会でも、十分問題にして議しています。片や子どもたちにとって望ましい教育環境は何かを視点を当てた場合に、最後は子どものためにどうしたらいいのかというところにウェイトを置かせていただきました。
- 科野地区を含む北部地区については、基本方針（案）では小中一貫校を提言しています。この地区は、地域の伝統文化も多く、それをどのように引き継いでいくか、また、それぞれの学校の長い歴史をどのように引き継いでいくかが課題です。北部地区には、最近話題であ

る「信州型コミュニティースクール」の事業が進んでいる学校もあり、学校を支えてくださっているコミュニティースクールの運営協議会の皆さんの思いをどのように伝えていくかということも、ご指摘いただいています。

意見

- 私の子どもは現在保育園で、まだ小学校には通っていませんが、先日のメディアでの統合の発表が、今日のような説明会より先に出された点に残念な気持ちと疑問があります。統合の必要性というのは現状の児童数を考えれば大いにあると思いますが、通学路の確保と通学距離を考えると、バスの運行はなされるのかという点が一番不安です。

回答

- 遠い距離の皆さんにつきましては、バスにするかワゴン車にするかは別にして、交通手段は確保する予定です。通学路につきましても安全を点検したうえで、必要があれば改修も検討していきます。

意見

- 私たちの地区から通うとなると、大型ダンプが通ったり、工場地帯のある地区にあたるので、歩道の整備をしていただいたり、単に遠回りをして通学路を確保するというのは、子供にとって負担になりますので、そこを考えていただきたいと思います。

回答

- 対応できる範囲で検討して参ります。

意見

- さきほど話のありました、説明会よりもメディアで先に出てしまい、私たちも統廃合のことをそれなりに真剣に考えていたのですが、あまりにも急に出たことで住民の皆さんが本当に驚いてしまったというのが現状ではないかと思えます。ですから、実際に関係する人たちの声を聞いたうえでメディアに流していかないと、不信が募るばかりで、本当の意味の私たちの声が届かないのではないかと感じてしまうので、これからは気を付けていただきたいと思っています。
- 地域づくりの関係ですが、子どものために規模を統合してとのことですが、本当に統合をすることが子どもにとっていい事なのかと思えます。我が子は科野小学校へ通いましたが、本当に小さい学校で良かったという思いです。校長先生から講師の先生まで、皆我が子を知っていてくださり、骨折で教室に通えなかった時は、校長室で色々お話をしてくださり、そんなあったかい関係が築ける小さな学校はすごくいいなということを感じていました。バス通学もいいですが、寄り道しながらガラガラいろんな物を引きずって帰ってきた学校の通学路も本当に素晴らしいと思っています。今でも科野小学校にはとっても感謝をしているわけですので、規模が何人がいいというだけの考え方で、子どものためにいいかどうかを考えるのはいかがなものかと思えます。

- 小中一貫校は、やり方によっては先生達が多くを負担を強いられてしまったり、子ども達自身が負担を抱えたりという意見もありますので、規模の関係だけで考えず、もう少し本当に子どものためになる解決方法を考えていただきたいと思います。今、科野小学校では、地域の人たちがマレットゴルフや将棋などのお手伝いして、子ども達に教えていますが、これは小さい学校だからこそ地域と向きあい、あったかくやって行けるのではないかと感じていますので、先に統合ありきではなくて、そういう良さも是非考えていただきたいと思います。

回答

- 審議会委員の皆さんには、いろいろアンケートを取っていただいたり、学校で教壇に立っている先生方にも、アンケートや直に対面して聞き取り調査を行ったりしていただき、それをまとめていただいております。今おっしゃられたように、小さい学校なりの先生方の工夫、保護者や地域の皆様の支えを感じておりますが、マレットゴルフ以外でも、いろいろなことで地域の皆さまにお支え頂いている部分を今後も大事にしながら、更に引き継いでいただける仕組みというものを、教育委員会だけでなく学校の先生方、保護者や地域の皆様のお知恵を借りて考えていきたいと思います。
- コミュニティスクールも先ほど申し上げましたが、それぞれの小学校で工夫してやっているものをどうやってコミュニティスクールの運営協議会に引き継いでいくかが大切で、そこに絡んでくる地域の伝統文化や小学校で長い間持っている財産を、大事に引き継いでいく方法や子ども達にどう学んでもらうか、そういうことを同時に考えていかなければならないのかなと思っています。また今、お話がございましたように小さい学校だから数で物事を割り切っているという訳ではございません。教育委員会でも小さい学校で工夫をしているところ、先生方がいいなと思っていること、あるいは不便に感じていること、大変困っていること等、十分情報を共有し、そんなところもテーブルに乗せて今まで検討して参りました。今後も今のご意見を改めて大事に検討していく材料にしたいと思っています。
- 先ほど、メディアが先行したということで不信感が募るというお話でしたが、住民の代表である議会の皆様に十分ご説明を申し上げて、それから基本方針（案）をお示しし、皆様のご意見を聞いていくという順番でやっております。住民代表の議会の皆さんを後回しにして、という訳にもなかなかいきません。ここで決定という事ではございませんので、気分の悪いところもあろうかと思いますが、これから十分ご意見を聞いて進めていく予定ですので、ご理解をいただければと思います。

意見

- 私もかつて小学校を中心に勤務しておりました。私はこれを見た時に、小学生の時期の子どもに、どういう力をつければ一番いいのかという視点、観点が抜けているような感じがしました。小学校の時期の子どもにとっては基礎的な学力をどの子にも付けていく。特定の競争力に優れた子、一生懸命勉強したり塾に行ったりする子だけが伸びるのではなくて、どの子も自分がこういった道に進んでいきたい、ああいった事を自分は目指してみたいというように中学・高校と進んで自分の目標が定まって来た時にその基になる基礎的な学力をどの子にも付けてやる、これが一番重要な時期であり、それができるのは小学校だと思っています。私

は小学校で仕事をしておりましてどの子にも目をおろして、例えば算数で九九や足し算引き算の繰り上がり繰り下がり、または複雑になったかけ算割り算の処理の仕方、応用問題での考え方など、一人ひとりの子どもがどのような思考過程を通して伸びてきているか、確実に力を付けてきているかという事を、なるべく一人ひとりを丁寧に見届けて、のぞき込んで確認する教育スタイルを取ってきました。また、退職してから1箇月だけでしたがこの科野小学校にも来た事もありました。8人の子ども達を見るのは楽でしたが、でも一人ひとり程度も様々でした。その子達がある一定の段階に行くには、その子のつまずきを見届けてやり、つまずきがわかるとそれを乗り越え、その子はぐんぐんと発展できるんです。それが出来るのは大人数ではだめです。私は小学校の子どもにそんなに競争力っているのだろうかと思えます。長野県の1学級が30人というふうになったのはいい事ですが、私から言わせるとこれでも多いくらいです。小学生では25人以下でいいと思います。20人から25人、もっと少なくてもいいと思います。欧米の先進国でもほとんどそうです。みんな20人規模か20人以下です。学校の教師が寄り添って、一人ひとりの思考過程を探りながら伸びていくところを認めてやる、そしてその子に自信を持たせ、確実な力を付けて次へ繰り返していく。そういった事を考えていくべきだと思います。それには簡単に統合といった事には反対です。7人でも、いくらでも十分集団的な力が付きます。みんながお互いの個性を認め合ってその上に立って集団的な力をどうやって付けていこうかと話し合えば十分お互いに認め合う力も付けるし、人は様々だなという事を知ることができます。よく競争力が育たないと言いますが、小学生にそんなに競争力を付けることが必要なかどうか、とても疑問に思えます。

- それから、つい2、3箇月前に岩手県でいじめから自殺した中学生がいましたが、あの痛ましい事件を見た時に、あんなに生活ノートにSOSを発信しているのに、もう僕はいじめられて死ぬしかないということを何回も何回も生活ノートに発信しているのにそれに気づかなかった手を出なかった担任と学校。こんな痛ましい事件は、数の多い学校や忙しい先生方、そういった事の中から起きてきている事件です。だから小学生なんかはひとクラスの人数、児童数を少なくして、先生方がゆとりを持って絶えず一人ひとりのことを見、寄り添えるような体制こそ作るべきではないか思っています。

回答

- 教育委員会の中でも審議会でも、競争力を付けようという言葉はでておりません。ただ、その前段での学力の件ですが、一人ひとりの子どもの基礎学力をどう付けるか。小学校では特に、算数と国語、計算と読み書き、これはもともと基本です。この部分がつまずいてしまうと、後が難しくなります。そのために、子どもは少ない人数の方がいいというご指摘でございますが、中野市の教育委員会では学校でつまずきのある子や支援の必要なお子さんに対して支援員の先生を配置し、寄り添って授業を進めて行くという事を100%十分とは言えませんが、この近在では誇れる人数をお願いしてやっています。それから、先生方の負担を少なくするべきという事は私も分かります。県の30人規模学級、この人数については私も個人的には20人台になればいいなという思いはありますが、これは国と連動していますので、なかなか難しいところもあります。

意見

- 支援員というのは何年生まで付くのですか。

回答

- 支援員の先生については、何年何組あるいは何年生の学級で非常に困っていると、とても担任の先生がやりきれない、というような情報を学校長から教育委員会のほうへあげてもらっています。それに対して市の教育委員会では学校経験のある指導主事が精査し、困っている学年や学級に配置している状況です。

意見

- 中野市がそういった支援員制度を持っているということはとてもいい事だと思います。ただ、低学年のうちはともかく、ある程度学年が進んで新しい事を学ぶ時に支援員が必要な子どももいます。ですから、そんなに大人数のクラスを作るのではなく今の科野小の程度のクラスを大事にして、担任の先生はゆったりと、またどうしても遅れがちのお子さんには支援員の方に入っていただくのがいいと思います。
- 基本的には統合には反対です。というのは、先ほどから出ている地域で子どもを育てるという事についてですが、私は自分が勤務しているときには、この地域の歴史を、地域の方々や学校と一緒に、子どもたちと学びました。自分たちの地域っていい所なんだ。頑張ってきた先人がこんなにいるんだ、ということのを是非学んで欲しい。そして子どもたちがいずれここに帰ってこようと思える地域であったり、どこかに出ても誇りに思えるような地域にして欲しいと思います。例えば、科野小では、赤岩堰の学習がありました。長元坊の所まで行って赤岩堰の取り入れ口まで見て、トンネルを掘ったりしてその地域の人たちがそれを作った知恵、またその力、ほぼ等高線沿いにずっと来ているこの素晴らしい用水の力というものをしみじみ感じました。深沢ではその事をすごく大事に考えていて、新田開発をやってきた村々の人というのは、用水がどのように大事なものであるかという事を、地域の育成会で連れて行ってくださると思うんです。その様にして自分たちの生まれ育って住んでいる地域を大事に思える、そして亡くなってしまったうちの爺さんとか、隣の爺さんとか、そういう地域の人たちのことも誇りを持てるような、故郷を離れてからも懐かしんでもらえるような、地域の愛する心を、いわゆる郷土愛を育てられるのかどうかということです。たとえば平岡小に科野小が統合されてしまった時に、4年生ぐらいでやる地域の学習を一括して平岡のどこかで学ぶようになると思います。そうした時に、はたして科野や深沢や赤岩の人達、子ども達は自分たちの地域の人たちがどんな様な歴史をたどって今日にあるのかという事に、触れたり話をしていくきっかけを作ったり、地域の人たちから話を聞く時間を持ったり、そんなことをするようになるのかどうかとても不安です。ですからやっぱり小学生くらいはもう少し地域の中でじっくりと育てる方がいいと思います。

回答

- 科野地区では、深沢用水は代表的な地域の教材になっており、先人の知恵を学ぶという大事な学習をしています。もし統合という事になれば、柳沢、田上など他の地区にもあり、すべてをやるのは難しいかと思いますが、今後の検討課題だと思います。

意見

- 代表的な教材は各地域にみんなあるが。

回答

- 用水の歴史は田上のほうにもあります。学校では、先生方が社会科で大事に考えて、授業をしていますので、それも生かしていきたいと思います。

意見

- 資料1の中にあります4小学校を統合し、位置は平岡小とする。という5ページの部分になりますが、これは平岡小学校に合併するものなのか、他の小学校が平岡小学校になってしまうという意味なのか、それとも平岡小の場所を新しい学校の場所として、理念だとか教育方針だとかを新たな学校として生まれ変わるのかという事が気になりました。
- 先ほどのお話の中から、人数だけで効率を重視しようという考えはないというお話でしたが、資料の後ろのほうを見ると、学校の規模だとか人数だとか、そういった一覧がありまして、結果的には一番人数の多い平岡小学校にまとまるという形になっているので、人数以外の部分で、私たちに理解できる分かりやすい理由があれば知りたいなという思いがあります。平岡小に呼ばれるという表現はちょっといけないかもしれませんが、その辺の考え方も知りたいと思います。
- 実際に今日、ここに来るまでの間にいろいろ他の方から聞いたのですが、今日のこの集りのことを初めて知ったとか、今日、昨日知ったという方もいるようで、情報伝達ってどうなのかなと思いました。その辺の事はどのように取り組んできたのかなという事を知りたいと思いました。
- 先ほどメディアの方が先で今日のこの日があるという部分の回答で、代表である議員の方に話をしているという話ではありますが、結果的にその議員の方々の責任ではないと思います。正直、この日のことを議員の方から聞いていませんでしたし、何も話がない状態でした。それを持ってどうこう言う訳ではないのですが、議員の方々にこういった情報を開示するように促していただくとか、議員の方に働きかけていただくような配慮がないと、今後、2回目以降の他の方々がこういうことになり、まとまりができていないのかなという思いがあります。9月30日に他の学校が終わりになった状態で、もしまだ初めてで至らなかった部分が出て来るようであれば、もう一回ぐらいこの地域に来て説明してもらいたいかなと思いました。

回答

- 情報の伝達については、広報なかのやホームページ等で周知はしているつもりなのですが、やはり皆様方から初めて聞いたという声がありましたので、大変後手に回ってしまいました。昨日の夕方から音声告知放送と文字放送等で周知したところがございます。今後も説明会があるという事を周知するように心がけていきたいと思っています。

- メディアが先に出てという件につきましては、あくまでも基本方針（案）ということであり、それを出したと同時にホームページ等で公開しておりますが、皆様方にもなるべく分かるように工夫しながら開示をしていくよう、見直していきたいと考えています。
- 9月30日をもって説明会が11校終わるわけですが、その後もう1回どうかという事につきましては、要望等があれば、何人か集まっただけであれば、要請に応じてできる範囲で参加させていただき、意見等を聞いたり、説明不足の点があればまた説明をしていきたいと思っております。

意見

- 再度になって恐縮です。資料1の5ページ目にあります、「4小学校は統合し、位置は平岡小とする。」という表現の意味がちょっと難しいなと思ひ質問させていただきました。平岡小学校に他の学校が吸収されるだとか、統合されるという事を意味しているのか、それとも位置が平岡小で、学校の行事や学校の理念がある程度生まれ変わるような形なのかを知りたいなという事と、平岡小にした理由について、分からない表現があったのですが、先ほどのお話の中で、人数が絶対的な要因ではない、人数が少ない事が要因ではないという事が感じ取れたのですが、家で資料を拝見しましたところ、平岡小学校はやはり一番人数が多い学校というかたちになっていますので、その数以外でもし選んだ理由があるのであれば、その難しい総合的な判断というところでない、私たちが納得できるような理由があれば聞いてみたいという気持ちがあって質問させていただきました。

回答

- なぜ平岡小かという事ですが、設備的に平岡小学校の校地や校舎を使うのが、一番コスト的な部分やキャパの関係、受け入れの部分で相応しいということで、平岡小という形で今回お示しをさせていただきました。それから4校をひとつにした時の新たな学校としての理念などですが、この案でご了解をいただければ、その後の中で検討してまいりたいと考えております。

意見

- 4校を統合になるにあたって、クラスの分け方というのは、どのような振り分け方をするのか教えていただきたい。

回答

- 統合できたという前提の話になりますが、決して吸収というイメージは一切しておりません。あくまでも対等で、平岡小をゼロから考え、お互いにいいところを持ち寄って、新しい教育課程や理念も含め、子どもだけでなく地域住民の皆さん、学校の先生方と一緒に、どういう学校にするかということを考えていかなければいけないと思っています。
- 振り分けの点ですが、これは考え方が2通りあると思います。将来また故郷へ戻るといような事を考えた時に、多くの友達と小中学校を一緒に過ごすことがいいとなれば、それぞ

れの地区を均等に分け合うという考えもあれば、科野は科野だけ、倭は倭、長丘は長丘だけで固まるような学級編制がいいという考え方もあります。

意見

- 今の質問も、学校がひとつになってからと言われましたが、という事は今回だけじゃなく、このようにみんなで集まって意見交換会みたいなことは今後もしていただけるのですか。細かいことを皆が不安に思っています。

回答

- 要請があれば、もう一度やる事は検討します。

意見

- 要請しないとやってもらえないのですか、どこに要請すればいいのですか、どうやって要請するのですか。例えば今日、これがあるというのも、うち子どもは上にも下にもいますが、これから小学校に入る保育園の子どもがいるのに、保育園からこれがありますよというお便りなど何も来なかったです。代わりに小学校の統合に関係ない中学校から今日、ここで説明会がありますというお手紙をもらいました。これから小学校に上がってくる子どもたちの親にきちんとした情報が伝わってないと思います。ホームページに載せてあります、ホームページを見てくださるとの説明ですが、すべての家がネット環境がある訳ではないですし、全ての家がネットを使えるわけではありません。

回答

- 説明不足や資料の提供不足、あるいは情報伝達の不足ということであれば、再度行き渡るようにしていきます。
- 要請につきましては、例えばどこどこの地区とか、あるいは学校単位とか、どのような方法がいいのか、検討させていただければと思います。

意見

- 市の面倒くさいホームページからやっと探して資料をみましたが、高社中学校区の4小学校は統合し、位置は平岡小とすとなっています。普通に見れば平岡小学校に統合するようなイメージに理解してしまいます。例えば位置は平岡小学校とするという学校名を(仮)などと書いていただければよかったですと思います。

回答

- 学校名を(仮)としてほしいという事ですが、検討させていただきます。

意見

- 検討してほしいということではなく、このようにホームページに公表された資料をそのまま直読しますと、吸収されるようなイメージに理解されますので、この文面自体がおかしいのではないかと考えています。

- あと市のホームページですが、トップページから開くとなるとこの資料を出すのがすごく大変です。作った人は分かるかも知れませんが、全然知らない人が中野市のホームページを見た時に、この資料を出すのは大変であり、分かりづらいところにあると思います。

回答

- ご指摘につきましては、担当課とも協議し、なるべく分かりやすくしていきたいと考えています。また、必要があれば、例えば回覧などの方法もあったのかと思いますので、今後意見を踏まえたうえで、できる範囲で対応して参ります。

意見

- 今回の説明会の資料を見た時に、1から100まで全部質問が出てしまう説明会だなと思いました。ひとつには、教育委員会として理想とする方針や、将来のビジョンなどに対する批判や賛成、もうひとつは、今後統合した時に、バスはどのようにするか、クラス編成をどのようにするか、どうやって通うとか、そういった日常に対する不満等があり、一緒に説明会になってしまうと思いました。例えば、市の今後の教育ビジョンなどを踏まえて、統合が必要だという説明を進め、実際統合しますよとなった時に、地域を含む不安、子ども達自身の不安、将来小学校に通う保護者の方の不安などに対する説明や、スケジュールの説明などをしていただいた方が良いのではないかと思います。多分このペースで各地区の説明会をやると、意見の収集が付かないと思います。片や私自身の教育方針としてこれは反対なんですという意見もあれば、片や平成何年に合併し、その中で自分たちの子どもはどのようになるのかという不安からの質問が、全部一緒のまな板に乗ってしまっています。単純に子どもの人数が適正規模になると理想の教育ができます、ということではないと思います。理想とする教育や理念があって、そのためにはこういう学級編制、地域の編制が必要です。そのために私どもこういうことをして、今後こういうスケジュールで進めさせていただきたい、また将来的にこの地域のあるいは対象の子ども達、その保護者を対象とした説明会を今後やる予定です。その中でより具体的な説明会を是非行わせてください。というような説明がないと、全部の質問が出てしまい、終わらないです。個人的な教育理論から、自分の子どもがどうやって学校まで通ったらいいのですかという質問まで、答えようがないと思います。どういうスケジュールで皆さんお考えなのかということも、いまひとつ良く分からないので、この説明会というのはまず何を説明して何をここで共有してもらいたいのか、何について議論してもらいたいのか。その次にどのような課題があるのかという、ある程度段階を踏んでいくべきではないかと思います。
- あともうひとつは資料が難し過ぎますし、この難しい資料を端折って説明されていますので、若干不親切という気がします。

意見

- 特に高社中学校区に関する事なのですが、現在市の案では、校舎分離型の小中一貫校の推進という事ですが、4小学校の統合を経たうえで、義務教育9年間というのを、どのような観点で考えているのか教えてください。

回答

- 科野小学校を皮切りに市民説明会をやらせていただき、色々な課題も見えましたので、次に生かしていきたいと思います。様々な意見が出て収拾がつかないということですが、色々出していただいた大事なご意見を、教育委員会で議して、また提案させていただくという形にしたいと思います。
- 9年間を通したカリキュラムには、大事なことが3点ございます。まず1点目は、小学生の5、6年生に中学での教科担任制をしたい場合、専門の分野の先生が、算数、国語、理科など指導することができ、子どもたちの学力につながっていく面が期待できます。と同時に中学1年生に上がった時に中学校生活に上手く慣れなくて、いわゆる中一ギャップと言われていますが、中学校の先生が小学校の子ども達と一緒に授業をすることによって、中学へ行くまでの段差が多少緩和できるという事があります。
- 小中一貫というのは、小学1年生から中学3年生まで、体力的なことをはじめ、すごい差があります。この近在で小中一貫をやっている先進校も研究しましたが、上の学年の子どもが、小学校の小さい子の面倒をよく見る。また小さい子どもは将来中学生に上がった時に、お兄さんやお姉さんという繋がりができていますので、コミュニケーション能力の力が付くということが2点目であります。
- 3点目ではありますが、先生方が子ども達をどう指導するかといった時に、小学校と中学校でいろいろと意見交換、情報交換をすることによって、先生たちの子どもに対する指導の厚みが、より一層付いていくと言われていています。
- このような小中一貫の教育課程の中で、教育委員会では、「たくましい生きる力を身につける」ことを基本にしていますが、より具体的なものは、学校の先生方が、うちの学校の子どもはこういう力を付けたいんだというようなことを打ち出して、進めていくこととなります。

意見

- 平岡小学校と高社中学校は別々の場所にあり、距離や移動時間を一切無視して小中一貫にする訳にはいかないと思います。子どもの移動の時間もありますが、当然教員、先生方の移動の時間もあります。この負担というものは考えておくべき問題です。
- 小学校5、6年生の子ども達は、その時期が小学校6年間の中で最もリーダーシップを発揮できる部分であると思います。中学3年生までとなると、子どもたちの考え方にも変化がでて、問題も発生すると思います。いろいろな研究者の意見では、中1ギャップという問題は大きな問題にならない、必ず克服できる問題である。小中一貫とは、簡単に言えば人員削減と教育の質の低下であると指摘する学者さんも多数います。この辺もしっかり考えていただきたいと思います。
- それから、出された意見はお聞きし、取り入れるところは取り入れますという事ですが、結局は4校を合併して校舎は平岡小学校という基本方針は恐らく変わらないと思うんです。中野市の予算も大きな問題になっているのではないかと思います。いろんな形でこじつけながら今回の統合に持ってきていると勘ぐってしまいます。
- 辰野の川島小学校は13人しかいない学校ですが、地域や日本福祉大の学生さんたちと一緒に色々な取り組みをしながら子ども達と楽しくやっています。このような例もありますの

で、大人数になれば切磋琢磨ができていいというものではないと思います。合併ありきという事でないとなれば、やはり、この説明会だけで終わるのではなく、もっと丁寧に事を詰めて意見を集約し、その意見を流してさらに皆さんに意見を聞きより深めていくことが大事だと思います。4校の合併だけでなく、もう少し小さな部分での合併、あるいは4校そのまま独立など、はっきりさせていただきたいと思います。

回答

- 基本方針はもう変わらないのではないかとご意見がありましたが、これはあくまでも案ですので、変わる場合もあるということをご理解いただきたいと思います。
- 住民アンケートはするのか、また、再度説明会はするのかといったご意見であります、科野のPTA会長さんともご相談させていただきながら、進めて参りたいと思いますが、他に例えば小学校区単位ではなくて、違う単位での説明会など、こんな方法でどうかというようなご意見もあれば、できる範囲で対応していきたいと思います。

意見

- 個人的には統合は賛成です。それは、自分の子どもの友達が18人よりも50人いた方が、子どものためにもいろいろな意味でいいのではないかと単純に思ったわけですが、様々な立場があるので、統合についてはいろいろな意見があっていると思います。この方針が答えではなく、変わるかもしれませんという話ですが、保護者の立場から言うと、実際どういうスケジュールでどうなるのでしょうか。自分ちの子どもはどうやって学校に通うのですか、自分ちの子どもはどうなるのでしょうかということが、親御さんの一番聞きたいところだと思います。その中でも、こうして欲しいああして欲しいという意見があると思いますし、その意見を出す前段階で、この案に対する賛否がありますので、分けて考えた方がいいような気がします。本当に統合します、統合のスケジュールはこうですという段階での、保護者対象の説明会というのは、また違う意見がたくさん出ると思います。
- 地域の皆さん市民の皆さんに、こういう教育の在り方、こういう市の進め方というのはいかがなものかというのは、保護者の立場を飛び越えてもっと中野市全体の問題だと思いますので、まだ決まってもいない、変更する可能性があるこの案に対して、バスの心配、クラスの手配をしても仕方がないという事になります。やはり段階を踏んで、分けて質問をいただいた方がいいと思います。

意見

- さきほど数合わせではないというお話ですが、具体的にどういう形になっていけば理想的な教育運営なのかという事の説明がければ、当事者や保護者の方は何て質問していいかわかりません。例えば、倭の1年生が遠い平岡へ行くということは、大阪の事件じゃないですが、色々な心配があると思います。色々な問題をある程度具体化して検討しないと、この問題はいいのか悪いのか考えられないのではないかと思います。教育委員会としては中身をもっと具体化して、ある程度どういうことなのかということをしつかり捉えていただかないと、話が前に進まないと思います。

意見

- 次回の説明会を開いていただけるという時のことを考えてのお願いですが、実は今日は小学校のプール参観があり、中学校も参観日でスケジュールがかぶっていて、かなり忙しかったので、日程がかぶるのも地域との連携が全然取れていないのではないかなと思いました。小さい子、保育園の子もいて、今日はとりあえずご飯を作って参加できたのですが、参加できていない人もいますので、また次回この会を開く時には配慮していただければと思います。

回答

- 日程の調整については、配慮したいと思います。
- 本日のご意見をまとめさせていただき、必要に応じて、それぞれ関係の皆さんと協議する中で検討していきたいと思います。

5 閉会 (PM8:12)